

# 令和2・3年度地域学校協働活動に関する調査研究

令和4年3月

福岡県立社会教育総合センター

文部科学省は、平成29年度に学習指導要領を改訂し、小学校は令和2年度から、中学校は令和3年度から全面実施となりました。この新学習指導要領の前文では、子供たちに求められる資質・能力とは何かを社会と共有し、連携する「社会に開かれた教育課程」を重視することが明示されています。その中で、教育課程を通してこれからの時代に求められる教育を実現していくためには、よりよい学校教育を通してよりよい社会を創るという理念を学校と社会とが共有することの必要性が述べられています。

本県では「地域と学校の連携・協働」を促進するため、地域と学校の運営方針を共有するコミュニティ・スクールと、地域人材が多様な活動を行う地域学校協働活動の一体的な取組を推進するシステムを、令和4年度までに全小中学校区に導入する方針を示しています。

そこで当センターでは、コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進に向けた研修動画・研修資料、教職員及び地域住民向けの啓発チラシ、取組の参考となるような実践事例をまとめました。ぜひ、御活用ください。

【研修動画・研修資料】 ☆クリックしたら動画を視聴したり、資料をダウンロードすることができます。

令和2年度「学校とともにある地域づくり・人づくり推進セミナー」WEB開催(地域学校協働活動推進員研修会)

□ 講話「地域学校協働活動(本部)とCSの一体的な推進の意味と課題」

NPO 法人大分県協育アドバイザー理事長 (コンサルタント)

中川 忠宣 氏

[http://www.fsg.pref.fukuoka.jp/syakyo/cs/fukuoka\\_cs\\_seminar\\_1.html](http://www.fsg.pref.fukuoka.jp/syakyo/cs/fukuoka_cs_seminar_1.html)



□ 講話「地域学校協働活動推進のために求められる学校・地域及び行政の役割」

特定非営利活動法人ひらかた市民活動支援センター 理事 (コンサルタント)

高尾 千秋 氏

[http://www.fsg.pref.fukuoka.jp/syakyo/cs/fukuoka\\_cs\\_seminar\\_2.html](http://www.fsg.pref.fukuoka.jp/syakyo/cs/fukuoka_cs_seminar_2.html)



□ 講話「さあ、始めよう！でも、どうしたら？～導入へのご案内」

～「学校運営協議会の進め方」、「学校支援から地域学校協働活動へ」～

特定非営利活動法人スクール・アドバイス・ネットワーク事務局長 (CSマイスター)

井上 尚子 氏

[http://www.fsg.pref.fukuoka.jp/syakyo/cs/fukuoka\\_cs\\_seminar\\_3.html](http://www.fsg.pref.fukuoka.jp/syakyo/cs/fukuoka_cs_seminar_3.html)



□ 講話「CSを導入するときのすべきこと」

新潟薬科大学 応用生命科学部非常勤講師 (CSマイスター)

大山 賢一 氏



[http://www.fsg.pref.fukuoka.jp/syakyo/cs/fukuoka\\_cs\\_seminar\\_4.html](http://www.fsg.pref.fukuoka.jp/syakyo/cs/fukuoka_cs_seminar_4.html)

令和3年度「地域と学校の連携・協働推進フォーラム」オンライン開催(地域学校協働活動推進員研修会)

令和3年11月29日

□ 講話「コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進」

山口県教育庁義務教育課地域支援・人事班 主幹 (文部科学省 CS マイスター)

相田 康弘 氏



<https://youtu.be/sHNN8NZUKYA>

□ 事例発表

(1) 福津市立神興東小学校

「ふるさとを愛し、共に生き抜く『けやきっ子』の育成  
～学校・家庭・地域による一体的推進～」

<https://youtu.be/8B8rAwaO3D4>



(2) 添田町立添田小学校

「つながりを深めるプログラムによる学校改革」

<https://youtu.be/zKUlaHsICho>



(3) 大分県佐伯市立鶴谷中学校

「学校の中に地域を、地域の中に学校を」  
～ふるさと創生に向けたCSと地域『協育』ネットワークの連携～

<https://youtu.be/A0FCH1kjQZs>



【啓発チラシ】 ☆パワーポイントで作成しています。(各市町村や学校で活用する際は、編集してください。)

□ 教職員向け啓発チラシ「地域とともにある学校へ」

[http://www.fsg.pref.fukuoka.jp/syakyo/cs/pdf/fukuoka\\_cs\\_teacher\\_flyer.pptx](http://www.fsg.pref.fukuoka.jp/syakyo/cs/pdf/fukuoka_cs_teacher_flyer.pptx)

# 地域とともにある学校へ



**学校 (コミュニティ・スクール)**

学校運営協議会

学校運営・その運営に必要な支援に関する協議など

地域と「めざす子ども像」や「実現していくこと」を共有

委員として 参加

地域学校協働活動推進員

委員：校長、地域連携担当教員、保護者、地域住民、地域学校協働活動推進員等

**地域**

地域学校協働本部

学校と「めざす子ども像」や「実現していくこと」を共有

人材・活動などのコーディネート

地域住民、保護者、PTA、社会教育施設・団体、文化団体、スポーツ団体、企業・NPO等 ※幅広い地域住民や団体の参加

**地域学校協働活動**

**地域と学校の連携・協働のイメージ(概要)**

学習指導要領が目指す「社会に開かれた教育課程」の実現に向けて、学校と地域住民等が力を合わせて学校運営に取り組み「コミュニティ・スクール」として地域と協働して行う「地域学校協働活動」の一環的な実施が求められます。学校として目指すべき教育の在り方を地域と共有し、その連携・協働の一環として教育活動を充実させていくことで、学校と地域が一体となった「地域とともにある学校づくり」を進めることができます。

問合せ 福岡県立社会教育総合センター 研修・情報室 (地域学校協働活動担当)  
 電話 (092) 947-3512 ファクシミリ (092) 947-8029  
 ※ コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進について等ご説明いたします。

## 地域学校協働活動

地域住民、学生、保護者、NPO、民間企業、団体・機関等の幅広い地域住民等の参画を得、地域全体で子供たちの学びや成長を支えるために、学校と地域が相互にパートナーとして連携・協働して行う活動

**協働活動**

学校の求めと地域の力をマッチングして、さまざまな活動を行い、教育活動の充実を図ります。

- ・学校内の環境整備 (消毒作業、花壇の整備 等)
- ・授業等の学習支援
- ・部活動の支援
- ・基下校の見守り
- ・協働防災訓練 等

**放課後の学習活動**

放課後や休日等に、教員・OBや大学生等の地域住民の協力によって、全ての児童生徒を対象とした学習支援を行います。

- ・放課後や休日等における学習、スポーツ活動 等

**体験活動**

専門的な知識・技術について学んだり、多様な人たちとつながったりすることができると多様な体験プログラム等を提供します。

- ・社会的体験活動
- ・自然体験活動
- ・職場体験活動 等

**学校と地域がパートナーとして取り組む県内の実践例**

**【みんなの声の実際】**

- ・地域の方の話を聞いて、家の歴史が分かってきた。日本人と米との関わりを知り、米を大切にしないといけないと思った。
- ・用土には、毎日地域の人がいっぱいいます。「大きく育て、風通しよく」と声をかけているそうです。まるでお世話されているように感じました。
- ・地域の方に「がんばったね、とても早く採れたよ。」と褒めてもらい、嬉しかった。今後、近くで食べた時は、自分からおいしそうと思う。

**【地域・作物に感謝！もち米プロジェクト】**

稲刈りでは、多くの地域の方々と関わりがあり、子供たちが地域を支えていることを実感しています。自分の関りに貢献する大人一人でも多くいけば、将来、収穫に誇りを持って育ちたいと思います。

体験学習は、子供たちの成長に繋がります。親がその成長を見ることができると嬉しみます。伝統的に育ちの誇りを大事にしてきたことで、地域でも、人と関わりたいやみんなであってほしいという思いを持つ方が増えていきました。稲刈り一つ一つに繋がることが子供たちにとって、地域の活性化の意識が高まっていると感じています。

□ 地域住民向け啓発チラシ「地域学校協働活動」

[http://www.fsg.pref.fukuoka.jp/syakyo/cs/pdf/fukuoka\\_cs\\_community\\_flyer.pptx](http://www.fsg.pref.fukuoka.jp/syakyo/cs/pdf/fukuoka_cs_community_flyer.pptx)

# 地域学校協働活動



学校はあなたの力を求めています！

**私たちと一緒に、子どもたちと地域を「元気」にしませんか！**

問合せ 福岡県立社会教育総合センター 研修・情報室 (地域学校協働活動担当)  
 電話 (092) 947-3512 ファクシミリ (092) 947-8029

## 参加した方の声

私は、地域清掃や餅つきなどの地域行事の時は必ず参加するようにしています。他のボランティアさんたちと地域を元気にするために「こんな活動をしたらどうだろうか」という話し合いをするのも楽しいです。(40代 保護者の方)

積極的に勉強する姿を見るのが楽しいです。この活動に参加し子どもと接するごとに、子どもたちとの距離も縮まります。しかも、子どもたちからパワーをもらって、生きがいになっていると感じています。(60代 地域の方)

僕は教員を目指している大学生です。もともと子どもが好きで放課後学習のボランティアをはじめました。しかし、僕自身が学ぶことが多く、子どもに教えるというよりも、自分自身の「学びの場」となっています。(20代 大学生)

私の特技は書道です。子どもたちに学校で習字を教えるようになってから、とても充実しています。さらに、自分の特技を生かせるだけでなく、子どもたちから「習字の先生」と呼ばれることが大変誇らしく思っています。(70代 地域の方)

地域学校協働活動とは、地域と学校がパートナーとなり、地域全体(学校を含む)で子どもたちの成長を支え、地域を元気にしていく活動です。



子どもたちと地域清掃や地域行事を行い、自分たちの地域を「元気」にしませんか？



子どもたちは地域の宝物。子どもたちの「安全」を守りませんか？



あなたの「特技」を生かし、子どもたちに読み聞かせや部活動の指導をしませんか？



子どもたちの体験活動や学習の「手助け」をしませんか？

このチラシをふくめ、地域学校協働活動事業に関する情報は、福岡県立社会教育総合センターHPに掲載されています。興味がある方はご覧ください。



福岡県立社会教育総合センター

## 【実践の事例】

市町名	久山町	教室（本部）名	久山町地域学校協働本部
担当課（係）名	教育課		
対象学校区	久山町立久原小学校・山田小学校・久山中学校		
活動分類	<input checked="" type="checkbox"/> 学校における働き方改革を踏まえた活動 <input type="checkbox"/> 学習支援・体験活動（ <input type="checkbox"/> 地域未来塾 <input type="checkbox"/> 放課後子供教室 <input type="checkbox"/> その他活動 ）		
活動内容	ウォークラリー支援、読み聞かせ、クラブ活動（陶芸クラブ・家庭科クラブ）、家庭科（ミシン）、図工（版画）、丸つけ、特別支援学級サポート等		
主な活動日	<input checked="" type="checkbox"/> 平日 <input type="checkbox"/> 土曜日 <input type="checkbox"/> 日曜日 <input type="checkbox"/> その他		
推進員委嘱の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有（2～4年目） <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 委嘱予定有		
推進員の属性	<input type="checkbox"/> 退職教員 <input checked="" type="checkbox"/> 退職校長（教頭） <input checked="" type="checkbox"/> 元PTA 役員 <input type="checkbox"/> NPO 関係者 <input type="checkbox"/> 行政職員 <input checked="" type="checkbox"/> その他		
活動のねらい・目指すもの	地域全体で未来を担う子どもたちの成長を支え、地域を創生する地域学校協働活動の推進を図る。		
CSとの関わり	令和3年度は、令和5年度のCSスタートに向けて県立社会教育総合センターの協力を得て学習会を行った。また令和4年度からは、CS準備委員会に入り連携していく予定である。		
関わる組織・団体	本町の協働本部は、社会教育委員の会が立上げを行い、引き続き連携している。また、町のボランティア協議会、社会福祉協議会とも連携を図っている。さらに、県立社会教育総合センター社会教育主事からの支援を受け、情報提供や学習会等を実施している。		
活動の周知・啓発の方法	関係組織の会議等に参加し、地域学校協働活動のリーフレット配布や活動説明の周知を行った。		
苦勞・困ったこと	コーディネーターとして、安定して活動できる推進員が不足していた。ボランティアの高齢化により、活動の継続性が失われる不安がある。		
指導者やボランティアの確保	教育委員会の支援や地域の団体とのネットワークを活かし、不足するボランティアの確保や新たなゲストティーチャーの確保ができた。		
活動の成果	コロナ禍の中で出来る範囲の活動ができた。各学校同士の連携もできていて、新たなボランティアはやりがいを感じていた。		
これからの展望	令和5年度のCSスタートに向けて、協働本部の役割を明確に位置づけ、学校を核とした地域づくりを目指したい。		



市町名	糸島市	教室(本部)名	南風校区運営委員会
対象学校区	糸島市立南風小学校		
活動分類	<input checked="" type="checkbox"/> 学校における働き方改革を踏まえた活動 <input checked="" type="checkbox"/> 学習支援・体験活動 ( <input type="checkbox"/> 地域未来塾 <input type="checkbox"/> 放課後子供教室 <input checked="" type="checkbox"/> その他活動 )		
活動内容	「地域貢献活動」		
主な活動日	<input type="checkbox"/> 平日 ( <input type="checkbox"/> 曜日 ) <input type="checkbox"/> 土曜日 <input type="checkbox"/> 日曜日 <input checked="" type="checkbox"/> その他		
推進員の属性	<input type="checkbox"/> 退職教員 <input type="checkbox"/> 退職校長(教頭) <input type="checkbox"/> 元PTA役員 <input type="checkbox"/> NPO関係者 <input checked="" type="checkbox"/> 行政職員 <input checked="" type="checkbox"/> その他		
活動のねらい・目指すもの	中学生の地域離れを解消。中学生に「やりがい・使命感」を感じられる地域活動を通して地域の人を知り、地域を知ることによって自分達の故郷を愛し、地域にとっても貴重な人材を育成する。		
CSとの関わり	CS導入済。学校運営協議会にも参加。		
関わる組織・団体	CS、地域学校協働活動の設置及び一体的推進を進めている。		
指導者やボランティアの確保	コミュニティセンターや社会教育委員等から南風校区運営委員会や中学校へ依頼。		
活動の成果	中学生の「地域貢献活動」 ・子どもの地域活動への参加意識や地域社会の出来事への関心が向上した。 ・中学生が地域の人を身近に感じられるようになり、積極的に地域の方へ挨拶をするようになった。		
これからの展望	現在は中学校の授業の一環として活動しており、先生方の引率や立ち合い等、負担をかけている。将来的には先生方の負担軽減を含め、地域が主体となり様々な活動ができるようにしたい。また、学校・家庭・地域それぞれにどのような課題があるか、自ら現場で住民の言動を観察しニーズを掘り起こし、それに従って適切且つタイムリーな支援を行っていききたい。		
メモ	南風コミュニティセンターでは、様々なイベントを地域と学校が協力し、徹底した三者連携を行っている(スポーツイン南風、夏祭りなど)。センター長の坂口氏は、積極的に色々な場へ出向き、地域の学校や住民が困っていることを見つけ、地域で解決できるような活動を行っている。また、南風に住んでいる子どもたちが、南風を愛し、南風にとって貴重な人材育成することを目指した活動を行っている。		



市町名	八女市	教室(本部)名	見崎中学校区地域学校協働活動
担当課(係)名	社会教育課		
対象学校区	( 八女市立見崎 ) 中学校		
活動分類	<input checked="" type="checkbox"/> 学校における働き方改革を踏まえた活動 <input checked="" type="checkbox"/> 学習支援・体験活動 ( <input checked="" type="checkbox"/> 地域未来塾 <input type="checkbox"/> 放課後子供教室 <input type="checkbox"/> その他活動 )		
活動内容	3年生放課後学習会(プリントと自主学習)		
主な活動日	<input checked="" type="checkbox"/> 平日(木曜日) <input type="checkbox"/> 土曜日 <input type="checkbox"/> 日曜日 <input type="checkbox"/> その他		
時間	15時 30分 ~ 16時 30分(60分) ※スタッフ反省会及び打合せ(16時 30分 ~ 17時 00分)		
推進員委嘱の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有(2~3年目) <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 委嘱予定有		
推進員の属性	<input checked="" type="checkbox"/> 退職教員 <input checked="" type="checkbox"/> 退職校長(教頭) <input type="checkbox"/> 元PTA役員 <input type="checkbox"/> NPO関係者 <input type="checkbox"/> 行政職員 <input checked="" type="checkbox"/> その他		
活動のねらい・目指すもの	子どもたちの成長のために地域総がかりで教育の充実を図る。 ・学力補充等(高校入試に向けて)→3年生放課後学習会(11/4視察)、面接指導 ・地域貢献活動→校区内小学校の運動会お手伝い、行政区の空き缶や空き瓶回収のお手伝い ・その他→校区内の危険箇所確認、地域人材マップづくり		
CSとの関わり	・CS導入済。学校運営協議会にも参加。		
関わる組織・団体	・八女市は、学校教育課と連携し、CS、地域学校協働活動の設置及び一体的推進を進めている。		
活動の周知・啓発の方法	・学校側から周知している。		
苦勞・困ったこと	・コロナ過の影響で活動制限が多く、放課後学習会も令和3年度は、昨年度より実施回数が少なくなった。		
指導者やボランティアの確保	・推進員が連絡調整している。		
活動の成果	(学力補充等に関して) ・3年生放課後学習会、面接指導は令和2年度より実施。面接指導は3年生全員に行い、その後、放課後学習会への参加を希望する者が増えた。 ・放課後学習会に参加する生徒の情報を学校側と共有することで、個に応じた指導ができ、参加する生徒の安心感につながっている。		
これからの展望	・学校と地域の効果的な連携・協働を進めていく。		



市町名	福智町	教室(本部)名	福智町地域学校本部「伊方がんぱりっこ教室」	
担当課(係)名	生涯学習課			
対象学校区	福智町立伊方小学校	児童・生徒数	1・2年生全員	
活動分類	<input type="checkbox"/> 学校における働き方改革を踏まえた活動 <input checked="" type="checkbox"/> 学習支援・体験活動( <input type="checkbox"/> 地域未来塾 <input checked="" type="checkbox"/> 放課後子供教室 <input type="checkbox"/> その他活動 )			
活動内容	1年生及び2年生の帰りの会までの学習(宿題と補充プリント)			
主な活動日	<input checked="" type="checkbox"/> 平日(火曜日・水曜日)	<input type="checkbox"/> 土曜日	<input type="checkbox"/> 日曜日	<input type="checkbox"/> その他
時間	15時 00分 ~ 15時 30分(30分)			
推進員委嘱の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有(2~3年目) <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 委嘱予定有			
推進員の属性	<input checked="" type="checkbox"/> 退職教員 <input checked="" type="checkbox"/> 退職校長(教頭) <input checked="" type="checkbox"/> 元PTA役員 <input type="checkbox"/> NPO関係者 <input checked="" type="checkbox"/> 行政職員 <input checked="" type="checkbox"/> その他(町議員)			
活動のねらい・目指すもの	地域住民が中心となって、児童の学習習慣の定着や学習意欲の喚起を図るため、放課後等の学習活動を支援し、学力の向上を図る。			
CSとの関わり	・CS導入済。学校運営協議会にも参加。			
関わる組織・団体	・生涯学習課がこの事業のよさを感じ、自分たちで考え行動しているので、大変助かっている。学校側も大変お願いしやすい(カーテンの補修、教室の環境整備、中庭の整備等)。			
活動の周知・啓発の方法	・児童が持って帰るチラシ。			
苦勞・困ったこと	・ボランティア募集は少しだけ苦勞したけど、ほとんど苦勞なし。			
指導者やボランティアの確保	・「学校関係者評価委員会」に推進員が入って調整する			
活動の成果	・ボランティアの中から校舎間のスペースを遊べる中庭広場を「無償」で作ってくれた(重機を使って土を入れて、整備)。			
これからの展望	・「開かれた学校」は当たり前のこと。地域とともにある学校を実現したい。			



市町名	苅田町	教室(本部)名	本部なし
担当課(係)名	生涯学習課		
対象学校区	苅田町立苅田小学校	児童・生徒数	55名
活動分類	<input type="checkbox"/> 学校における働き方改革を踏まえた活動 <input type="checkbox"/> 学習支援・体験活動( <input type="checkbox"/> 地域未来塾 <input checked="" type="checkbox"/> 放課後子供教室 <input type="checkbox"/> その他活動 )		
活動内容	みんなで遊ぼう(子ども広場) ※約10年ぐらい前から「子ども広場」がある		
主な活動日	<input checked="" type="checkbox"/> 平日( <input type="checkbox"/> 曜日 ) <input type="checkbox"/> 土曜日 <input type="checkbox"/> 日曜日 <input type="checkbox"/> その他		
時間	14時00分 ~ 16時00分		
推進員の属性	<input checked="" type="checkbox"/> 退職教員 <input type="checkbox"/> 退職校長(教頭) <input type="checkbox"/> 元PTA役員 <input type="checkbox"/> NPO関係者 <input type="checkbox"/> 行政職員 <input type="checkbox"/> その他		
推進員の関わり	昨年退職、本年度から推進員として関わる。推進員は、学校で授業等を通して子どもたちに関わりたいという想いをもっている。		
活動のねらい・目指すもの	子どもの居場所づくり。体験活動。仲間づくり。		
CSとの関わり	・令和3年度、立ち上げの準備。令和4年に2校を立ち上げ。		
関わる組織・団体	・放課後児童クラブ ・アンビシャス広場		
活動の周知・啓発の方法	・町のHPを使って広報「広場たより」。 ・月1回程度、会議を実施。		
苦勞・困ったこと	・校務分掌に地域学校連携担当教員を位置付けていないので、教頭・主幹教諭がその役を担っており、業務が多忙。苅田小の校長先生(社会教育主事有資格者)には、改善のアイデアがある。		
指導者やボランティアの確保	・校長が働きかけて、人材を探している。(視察当日は3名の指導者がいた。)		
活動の成果	・子どもの居場所として地域に根付き、体験活動の確保や人のつながりづくりの場になっている。		
これからの展望	・今後、町雇用として推進員を複数名確保していく予定。		





鞍手町立室木小学校

・放課後学習支援員(放課後学習教室)芝田 麻衣子さん  
「地域活動指導員の友人に勧められて始めました。週に3回、宿題を見たり音読を聞いたりして、終わったら上級生が来るまでコーディネーターの先生からいただいた迷路や折り紙をしながら過ごしています。子どもたちがかわいいので関わっていくことはとても楽しいです。放課後のメニューがマンネリ化してしまうし、人数も少ないので研修会等がなくて参加できるのであれば、してみたいです。」



・環境ボランティア(働き方改革)嶋立 輝行さん  
「定年退職後からずっと室木の子どもたちのために関わっています。今年度は小学校の環境整備のために行っていた草刈りの燃料代を地域学校協働活動費から負担していただき、助かっています。登下校の見守りや昔遊びの授業もやっています。」



・コーディネーター 深田 真二さん  
「昨年度町内の小学校校長を定年退職した後、コーディネーターを始めました。社会教育から見る学校はとても新鮮な気持ちです。町内のいろんな方を知っているので声をかけやすいです。ただ、みなさん『好きな時に働きたいし、手続きが面倒そうだし、謝金とかいらんよ』と言われる。今後も継続して活動してもらうためにも、ゆっくり時間をかけて活動のことを話していきます。」